



平成29年8月4日

～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局

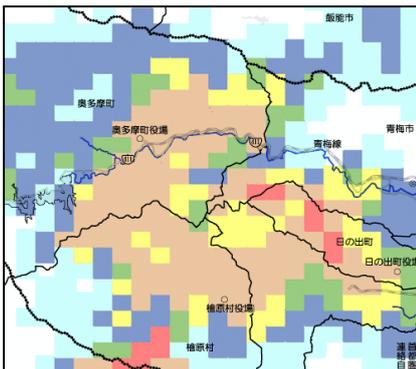
八重岳レーダ雨量計の高性能化

～CバンドMPレーダに更新～

沖縄総合事務局では、8月11日より、高精度・高分解能・リアルタイムな雨量情報の配信を開始します。

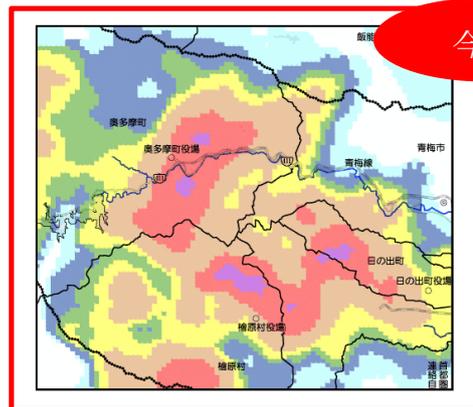
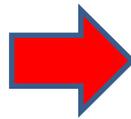
従来の雨量レーダ（Cバンドレーダ）に比べ、空間解像度が1Kmメッシュから250mメッシュ、配信間隔が5分から1分となり、近年増加する集中豪雨や局所的な大雨による水害・土砂災害等に対して、適切な避難行動や施設管理等の防災活動等に役に立ちます。

1. 配信開始予定：平成29年8月11日（金） 午前0時
2. 配信サイト：川の防災情報 <http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do>
一般の方も上記「川の防災情報」ホームページより見る事が可能です。



【Cバンドレーダ】

空間解像度：1km 配信間隔：5分



【C-MPレーダ】

空間解像度：250m 配信間隔：1分

(イメージ図)

今回



八重岳レーダ雨量計

赤枠は定量観測範囲 半径120Km

< 問 い 合 わ せ 先 >

内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 流域調整課

流域調整課長 宮城一正

洪水・濁水予測専門官 嵩本 博

流域調整係長 與那嶺 盛明

電話番号 098-866-1913 (直通)

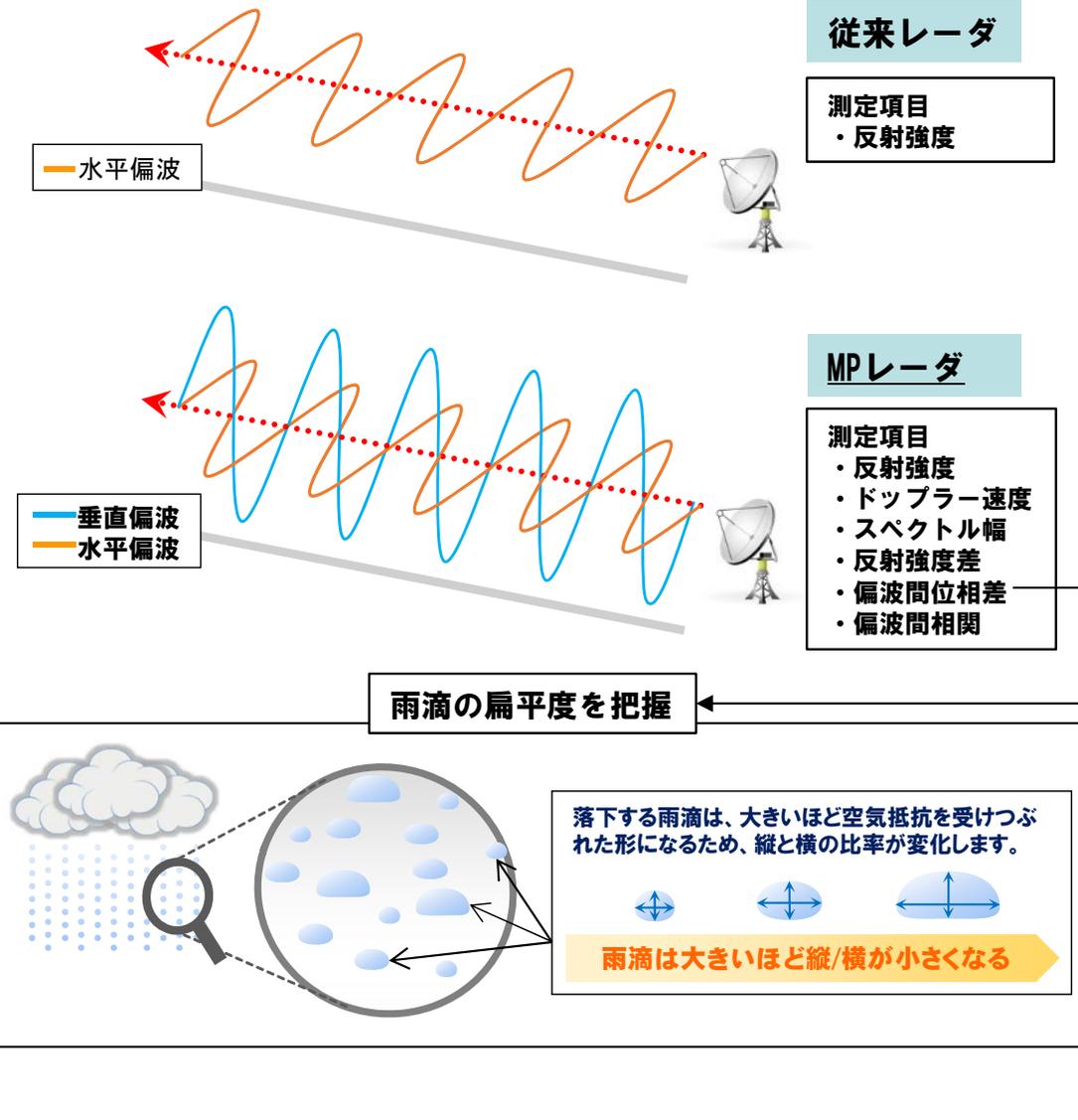
内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 情報通信技術室

通信ネットワーク係長 元水 孝樹

電話番号 098-866-1929 (直通)



- MPLレーダでは、**2種類の電波(水平・垂直偏波)**を送受信します。従来のレーダより多くの項目を測定することで、雨滴の形状等を把握することが可能となります。MPLレーダでは、**雨滴の扁平度等から雨量を推定することで、高精度な観測が実現しています。**
- 高精度な観測が可能のため、地上雨量計による補正を行わずに、**ほぼリアルタイムで雨量情報を配信**することを実現しています。



従来レーダ

MPLレーダ



平成20年7月28日に兵庫県神戸市の都賀川で発生した局地豪雨による河川の急激な増水により、河川にいた5名が流され死亡

→10分間で1.3mの水位上昇

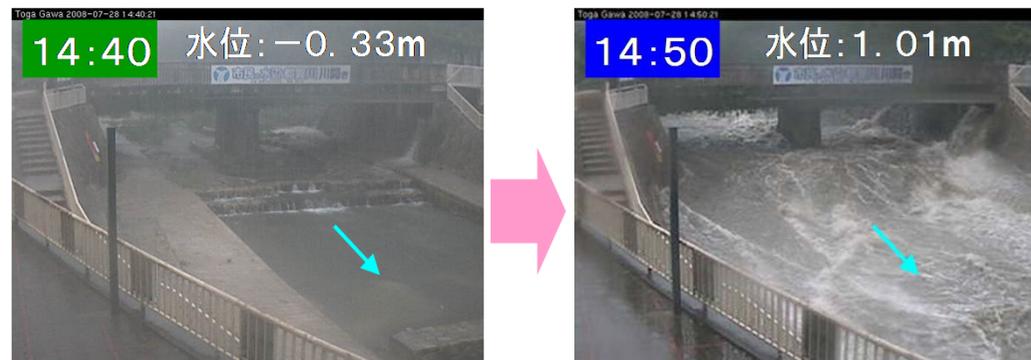
(2分以内に約1m程度の水位上昇:土木学会調査団報告)



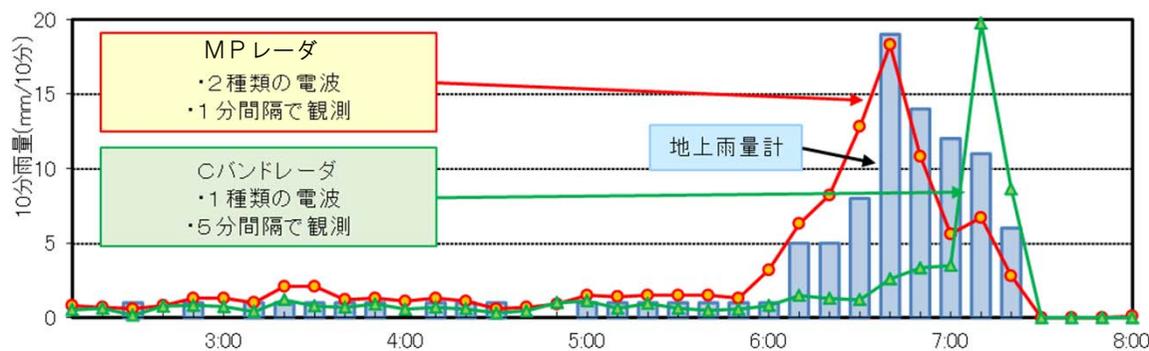
1kmメッシュで、5分毎の降雨の観測データを5～10分後に配信するCバンドレーダでは対応困難。

レーダ雨量計のMP化により、250mメッシュで、1分毎の降雨の観測データを1～2分後に配信可能となり、局地豪雨による急激な雨量変化も精度良く観測でき、適切な避難行動等の防災活動等に役立ちます。

都賀川甲橋 水位上昇状況 (神戸市モニタリングカメラ画像)



第1回中小河川における水難事故防止検討WG 都賀川説明資料(兵庫県)より



観測のイメージ図